



フェンスAS TH

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

**警告**

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**注意**

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

お願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□施工の前に

▲警告



- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。
- 手すりではありません。フェンスに乗ったり、寄りかかったり、揺すったりしないでください。転倒・転落のおそれがあります。

▲注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

施工前のお願い

- ブロックに施工する場合は、JIS A 5406の区分16 (C種) 以上で施工してください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に必ず確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化の原因になります。

施工上のご注意

⚠ 注意



- ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

〈推奨トルク〉

φ4ネジ:

アルミ

1.5N・m±0.5N・m(15±0.5kgf・cm)、

樹脂

1.0N・m±0.5N・m(10±0.5kgf・cm)

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。アルミなどの金属が腐食し強度低下の原因となります。

- 現場で取付金具や継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故のおそれがあります。

- 柱埋込み時には水抜き穴を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。

- 柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。



- 組付け後、必ず鋭利な切断面やバリが露出していない事を確認し、修正してください。ケガをするおそれがあります。



- 製品の改造は絶対にしないでください。不具合・強度低下などの原因になります。

- 施工終了後は、ネジにゆるみがないか確認してください。強度低下などの原因になります。

施工上のお願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。

- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。

- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。

- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。

- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。

- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

基礎工事について

⚠ 注意

- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食するおそれがあります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

- ご使用になる場所に合せて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/m²、風速38m/秒相当の地域を想定した参考寸法です。

- 柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。




チェックリスト

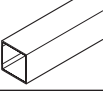
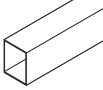





※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。



●ネジ止め、水抜き孔

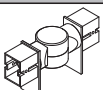

No.	ページ	チェック内容	
1	7~12	取付けネジは同梱のネジを使用し推奨トルクでの取付けを行い、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	7	柱の水抜き孔は塞がっていませんか。	<input type="checkbox"/>

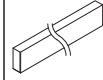
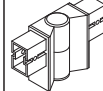




梱包明細表

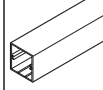
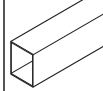





【1】 フェンス本体			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
フェンス本体		1	
継手		2	3
【1a】トラスタッピンネジ種φ4×10 D=8		4	6

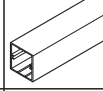
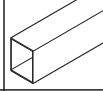







【2】 柱			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
支柱(H800~1800)		1	—
支柱(H2000~2500)		—	1
胴縁取付けブラケット		2	3
【2a】六角ボルト M6×65		2	—
【2b】六角ボルト M6×90		—	3
【2c】平座金 M6		2	3
【2d】バネ座金 M6		2	3

【3】 胴縁キャップセット			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
胴縁キャップ		4	6
【3a】トラスタッピンネジ種φ4×10 D=8		4	6
取付説明書	—	1	

【4】 自在コーナー継手			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
自在コーナー継手		2	3
【4a】トラスタッピンネジ種φ4×10 D=8		4	6

【5】 格子付きコーナー継手			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
格子		1	
コーナー継手		2	3
【5a】トラスタッピンネジ3種φ4×10		6	9
【5b】六角ボルト M6×45		1	
【5c】平座金 M6		1	
【5d】バネ座金 M6		1	

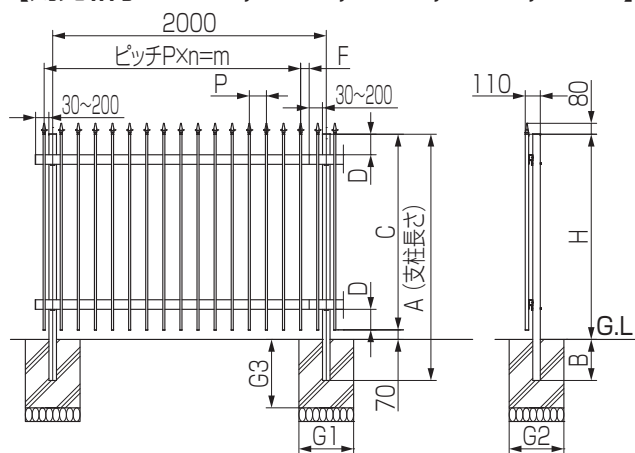
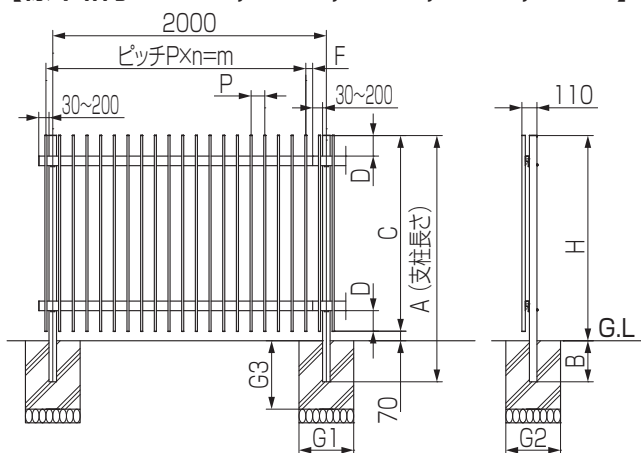
【6】 コーナー柱			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
コーナー柱(H800~1800)		1	—
コーナー柱(H2000~2500)		—	1
コーナー柱用ブラケット		2	3
【6a】六角ボルト M8×25		2	3
【6b】六角ボルト M8×50		4	6
【6c】平座金 M8		10	15
【6d】六角袋ナット M8		4	6

【7】 自在コーナー柱			
名称	略図	員数	
		H800~1800	H2000~2500
自在コーナー柱(H800~1800)		1	—
自在コーナー柱(H2000~2500)		—	1
本体取付け金具		2	3
【7a】本体取付座金		4	6
【7b】六角ボルト M8×45		4	6
【7c】六角ボルトナット M8×25		2	3
【7d】平座金 M8		10	15
【7e】バネ座金 M8		4	6
【7f】六角袋ナット M8		4	6

1 基本寸法図

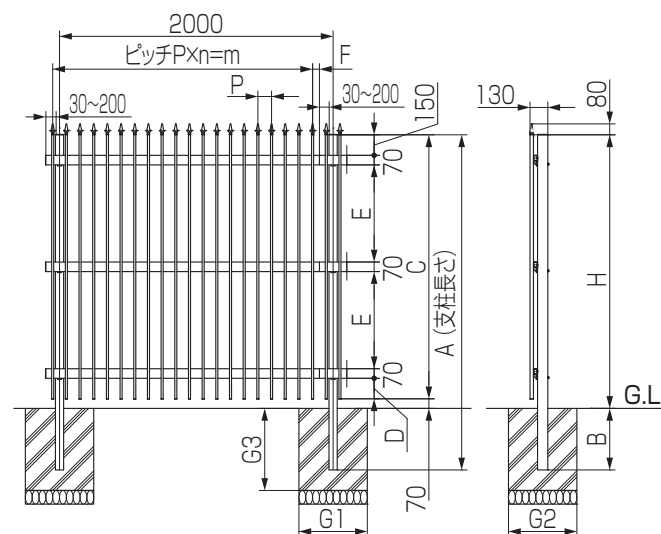
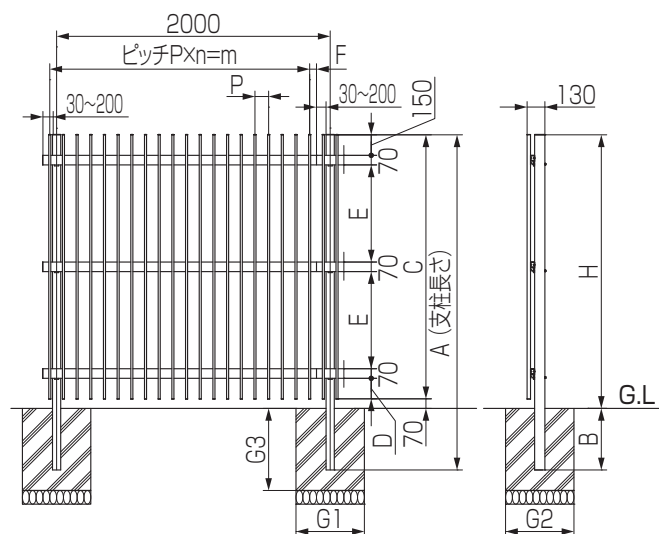
【標準格子 H800,1000,1200,1500,1800】

【剣先格子 H800,1000,1200,1500,1800】



【標準格子 H2000, 2500】

【剣先格子 H2000, 2500】



	H	A	B	C	D	E	F	P	n	m	G1	G2	G3
H800	800	1000	200	730	90	—	40	80	24	1920	250	250	450
							50	100	19	1900	250	250	450
							62.5	125	15	1875	250	250	450
H1000	1000	1200	200	930	90	—	40	80	24	1920	300	300	500
							50	100	19	1900	300	300	500
							62.5	125	15	1875	300	300	500
H1200	1200	1450	250	1130	90	—	40	80	24	1920	300	300	500
							50	100	19	1900	300	300	500
							62.5	125	15	1875	300	300	500
H1500	1500	1800	300	1430	150	—	40	80	24	1920	400	400	500
							50	100	19	1900	400	400	500
							62.5	125	15	1875	400	400	500
H1800	1800	2100	300	1730	150	—	40	80	24	1920	500	500	500
							50	100	19	1900	500	500	500
							62.5	125	15	1875	500	500	500
H2000	2000	2450	450	1930	150	710	40	80	24	1920	500	500	600
							50	100	19	1900	500	500	600
							62.5	125	15	1875	500	500	600
H2500	2500	3000	500	2430	150	960	40	80	24	1920	550	550	600
							50	100	19	1900	550	550	600
							62.5	125	15	1875	550	550	600

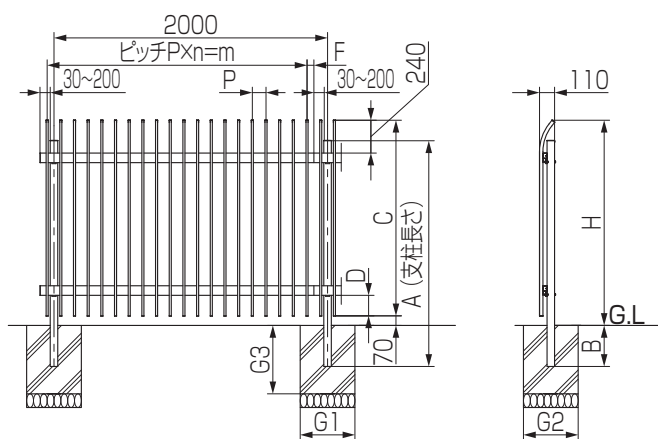
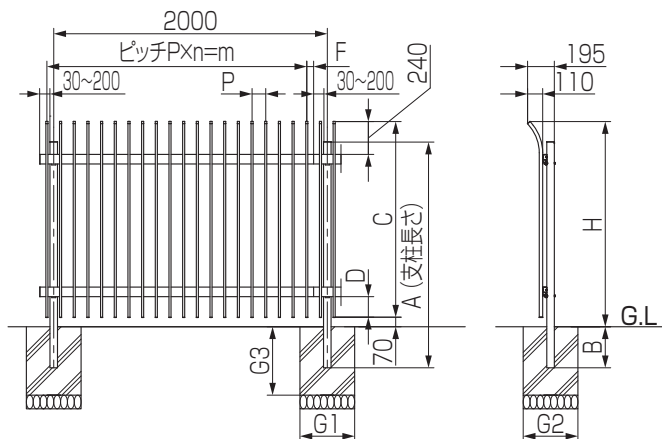
補 足

●基礎は長期地耐力を100KN/m²と仮定したときの寸法です。

1 基本寸法図

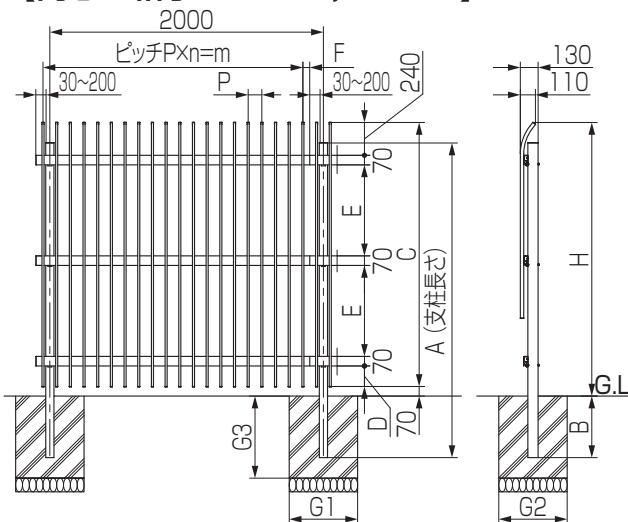
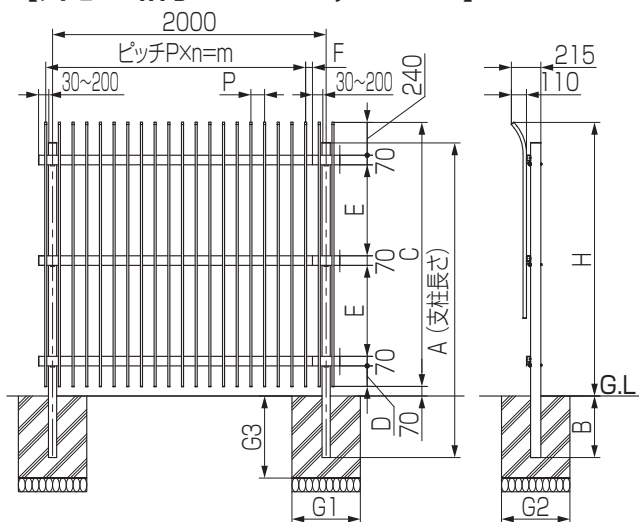
【外忍び格子 H800,1000,1200,1500,1800】

【内忍び格子 H800,1000,1200,1500,1800】



【外忍び格子 H2000, 2500】

【内忍び格子 H2000, 2500】

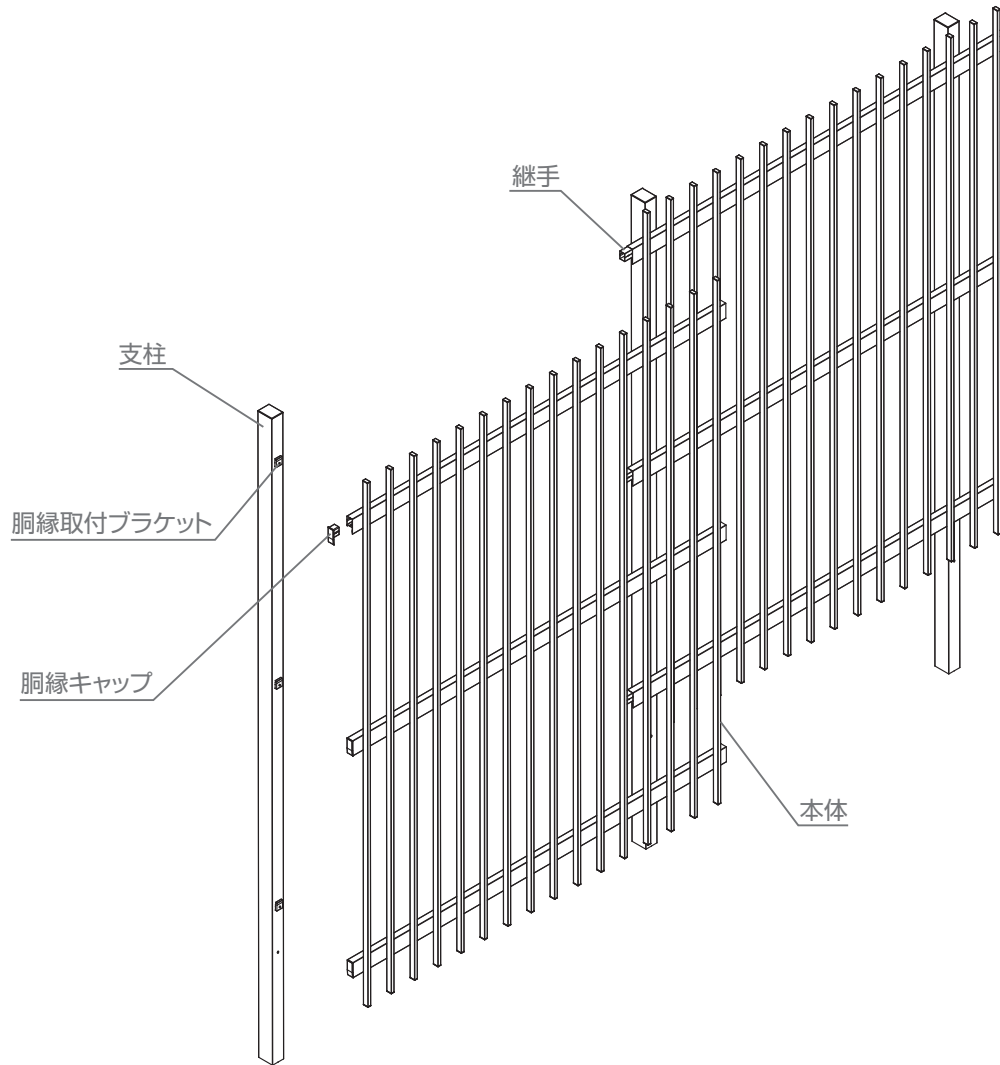


	H	A	B	C	D	E	F	P	n	m	G1	G2	G3
H800	800	850	200	730	90	—	40	80	24	1920	250	250	450
							50	100	19	1900	250	250	450
							62.5	125	15	1875	250	250	450
H1000	1000	1050	200	930	90	—	40	80	24	1920	300	300	500
							50	100	19	1900	300	300	500
							62.5	125	15	1875	300	300	500
H1200	1200	1300	250	1130	90	—	40	80	24	1920	300	300	500
							50	100	19	1900	300	300	500
							62.5	125	15	1875	300	300	500
H1500	1500	1650	300	1430	150	—	40	80	24	1920	400	400	500
							50	100	19	1900	400	400	500
							62.5	125	15	1875	400	400	500
H1800	1800	1950	300	1730	150	—	40	80	24	1920	500	500	500
							50	100	19	1900	500	500	500
							62.5	125	15	1875	500	500	500
H2000	2000	2300	450	1930	150	665	40	80	24	1920	500	500	600
							50	100	19	1900	500	500	600
							62.5	125	15	1875	500	500	600
H2500	2500	2850	500	2430	150	915	40	80	24	1920	550	550	600
							50	100	19	1900	550	550	600
							62.5	125	15	1875	550	550	600

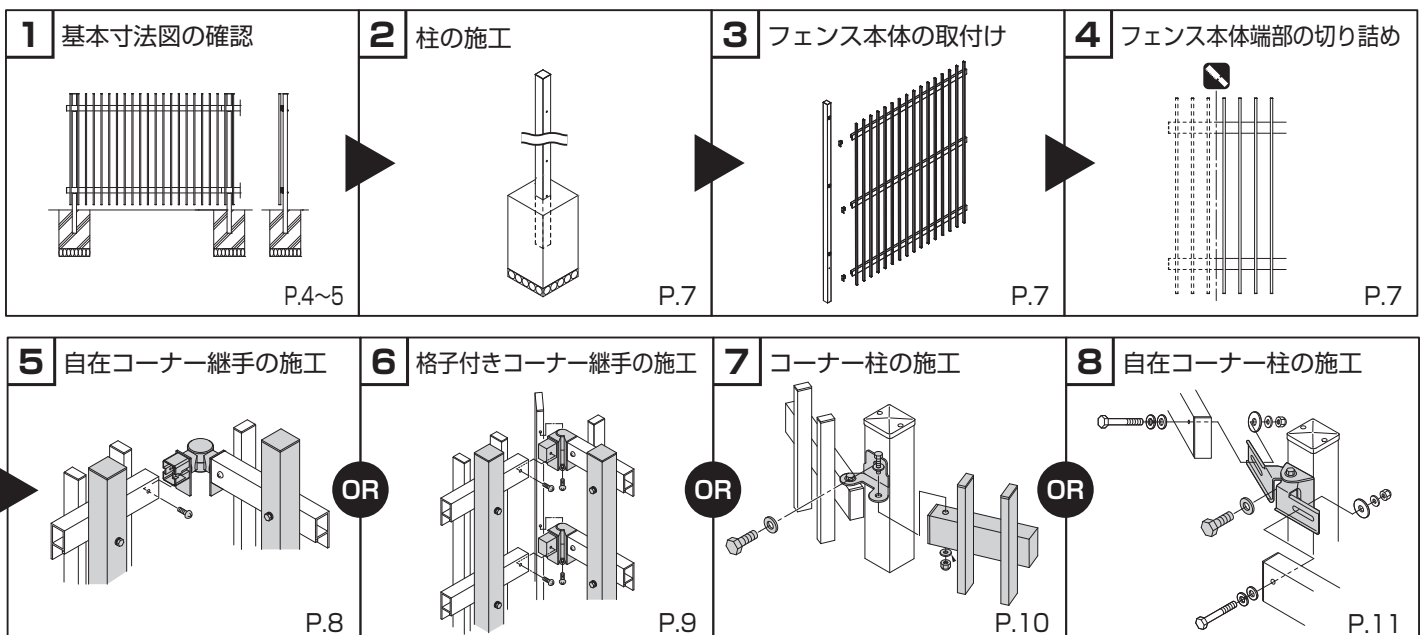
補 足

●基礎は長期地耐力を100KN/m²と仮定したときの寸法です。

各部名称



施工の流れ



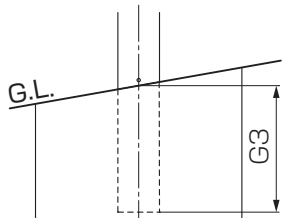
1 柱の施工

⚠ 注意

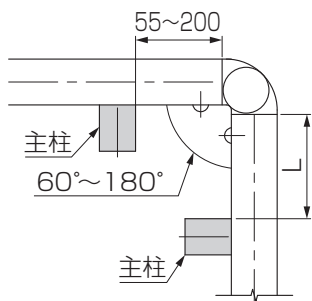
- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進するとともに、溜まった水が凍結し破裂するおそれがあります。

施工上のお願い

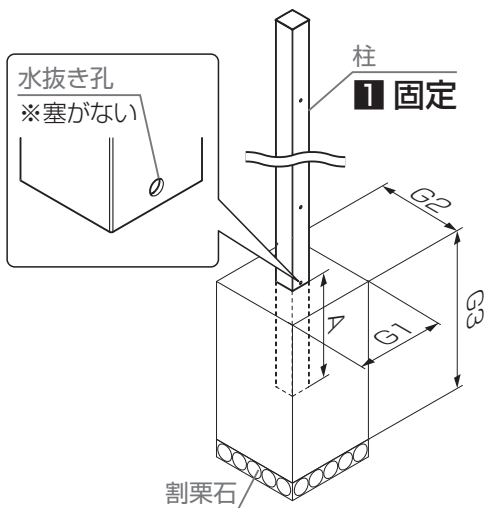
- 傾斜地施工時は、柱センター部が埋込レベルになるように施工してください。



- コーナー部には風が集中するため必ず柱を2本建ててください。
- コーナー部に建てる2本の柱は基礎同士が干渉しないよう寸法をH800~1800は350mm以内、H2000・2500は600mm以内で調整してください。



1:基礎寸法表を参考に基礎施工を行い、柱をコンクリートで固定



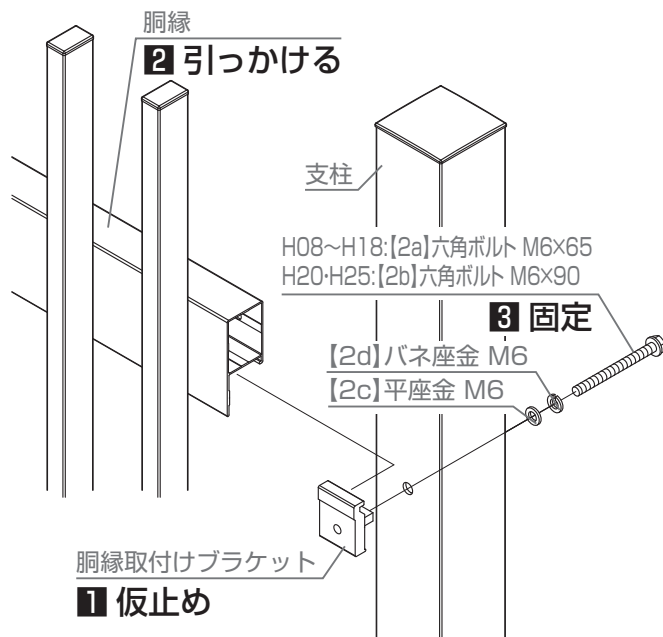
●基礎寸法表 (寸法単位: mm)

呼称	A	G1	G2	G3
H800	200	250	250	450
H1000	200	300	300	500
H1200	250	300	300	500
H1500	300	400	400	500
H1800	300	500	500	500
H2000	450	500	500	600
H2500	500	550	550	600

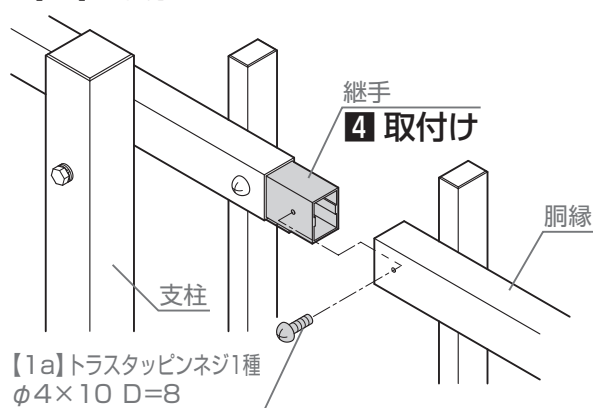
※基礎寸法は参考値です。

2 フェンス本体の取付け

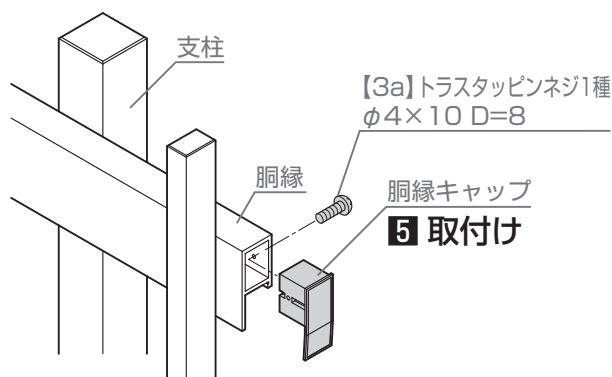
- 1: 胴縁取付けブラケットを【2a】または【2b】、【2c】【2d】で支柱に仮止め
- 2: 本体の胴縁を胴縁取付けブラケットに引っかける
- 3: 【2a】または【2b】をしっかりと締め付けて固定



4: 継手を【1a】で取付け

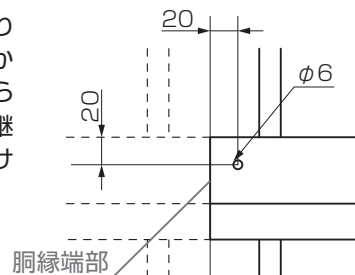


5: 胴縁端部に胴縁キャップを【3a】で取付け



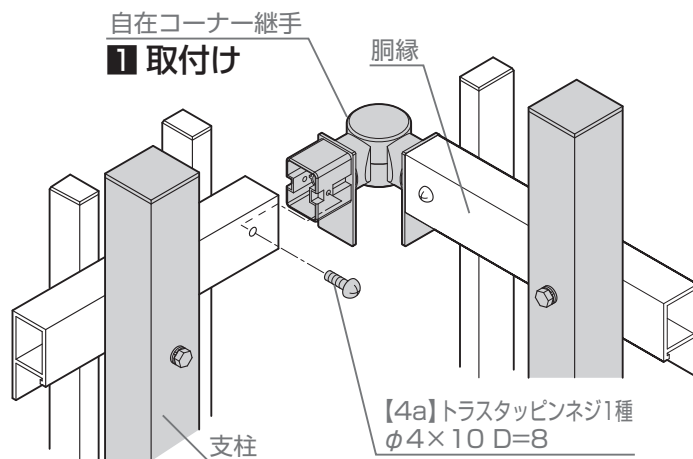
フェンス本体の端部を切詰める場合

- フェンス本体端部を切り詰めた後、胴縁端部から20mm、胴縁上面から20mmの位置に胴縁継手取り付け孔φ6を開け直してください。



4 自在コーナー継手の施工

1:自在コーナー継手を【4a】で胴縁に取付け



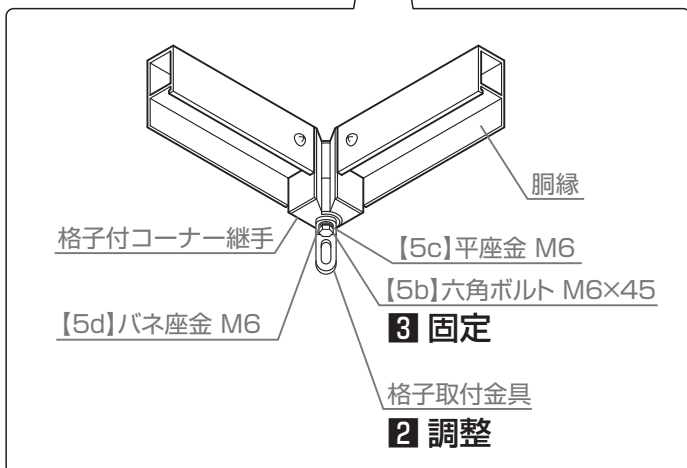
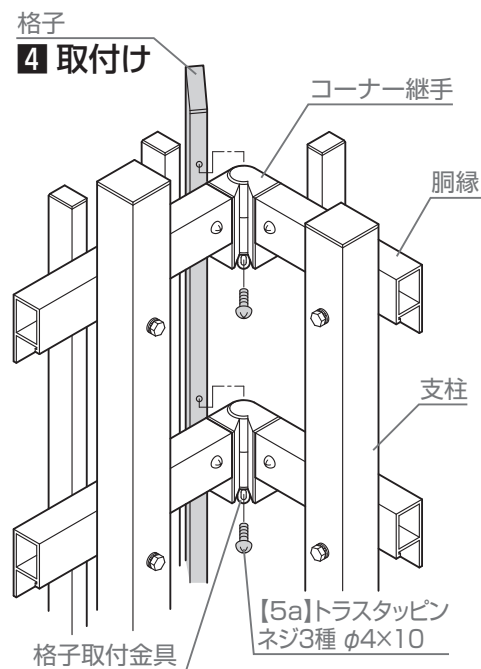
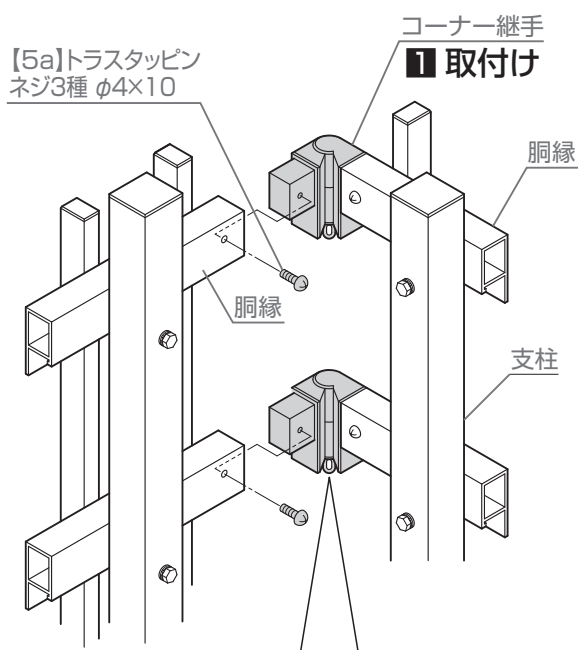
●対応角度

		コーナー角度		
		標準 格子80mmピッチ	標準 格子100mmピッチ	標準 格子125mmピッチ
出隅	入隅	60~180°		
出隅		剣先タイプ 格子80mmピッチ	剣先タイプ 格子100mmピッチ	剣先タイプ 格子125mmピッチ
出隅	入隅	60~180°		
出隅		65~180°	60~180°	
出隅	入隅	内忍び返し 格子80mmピッチ	内忍び返し 格子100mmピッチ	内忍び返し 格子125mmピッチ
出隅		95~180°	85~180°	80~180°
出隅	入隅	60~180°		
出隅		外忍び返し 格子80mmピッチ	外忍び返し 格子100mmピッチ	外忍び返し 格子125mmピッチ
出隅	入隅	60~180°		
出隅		125~180°	115~180°	110~180°
		傾斜角度		
		0~45°		

5 格子付きコーナー継手の施工

- 1: コーナー継手を【5a】で胴縁に取付け
- 2: コーナー継手した面の【5b】【5c】【5d】をゆるめ、格子取付金具の角度を調整
- 3: 角度調整後、【5b】【5c】【5d】をしっかりと締め付けて固定

- 4: 格子取付金具に格子を【5a】で取付け



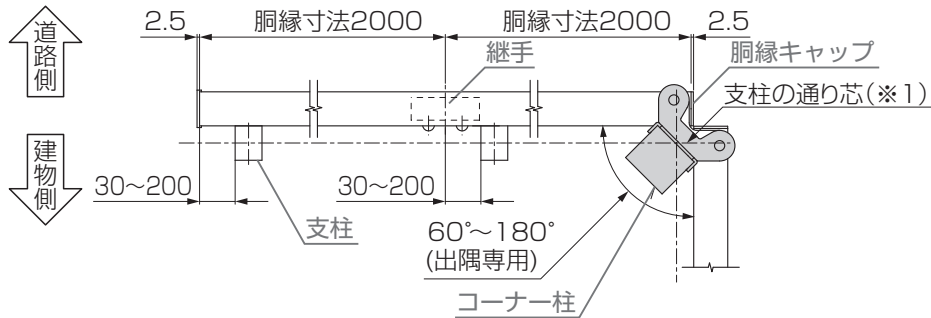
●対応角度

	コーナー角度		
	標準 格子80mmピッチ	標準 格子100mmピッチ	標準 格子125mmピッチ
出隅		60~180°	
入隅		90~180°	
	剣先タイプ 格子80mmピッチ	剣先タイプ 格子100mmピッチ	剣先タイプ 格子125mmピッチ
出隅		60~180°	
入隅		90~180°	
	内忍び返し 格子80mmピッチ	内忍び返し 格子100mmピッチ	内忍び返し 格子125mmピッチ
出隅	95~180°	85~180°	80~180°
入隅		90~180°	
	外忍び返し 格子80mmピッチ	外忍び返し 格子100mmピッチ	外忍び返し 格子125mmピッチ
出隅		60~180°	
入隅	125~180°	120~180°	110~180°
	傾斜角度		
	0~45°		

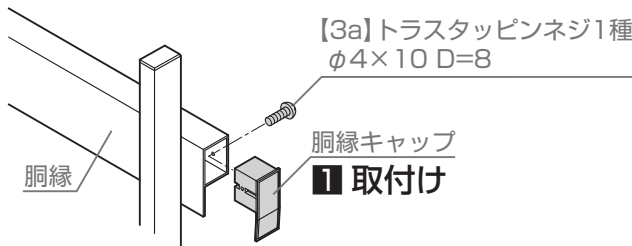
6 コーナー柱の施工

施工上のお願

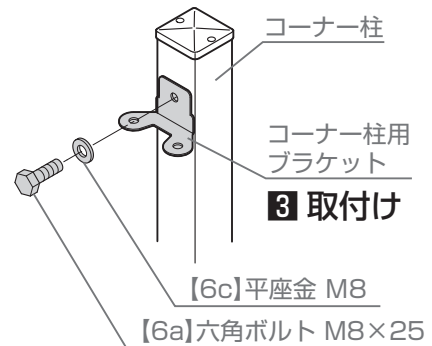
- コーナー柱は出隅専用です。入隅の施工はできません。
- コーナー柱の位置は支柱の通り芯とずれが生じます(※1)。フェンス本体を取付ける際は仮施工の状態ですべてコーナー柱の位置を調整してください。



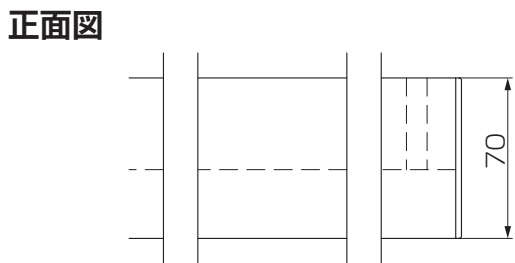
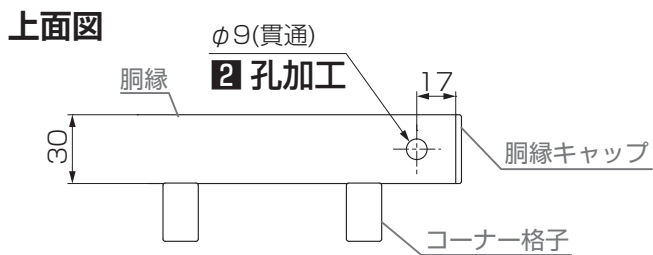
1: コーナー柱を取付け側のフェンス本体胴縁端部に胴縁キャップを【3a】で取付け



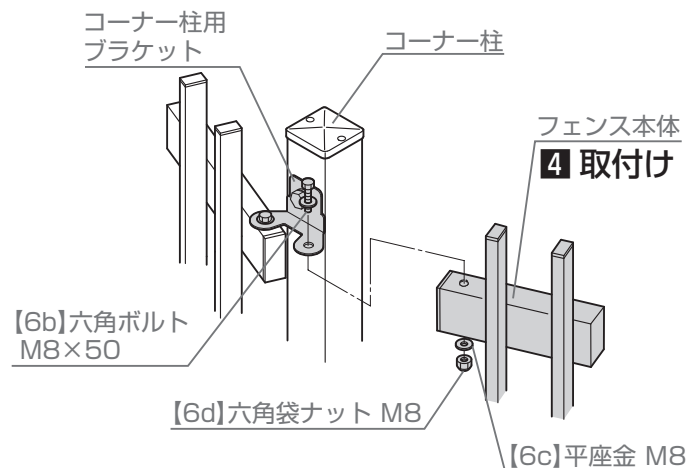
3: コーナー柱用ブラケットをコーナー柱に【6a】【6c】で取付け



2: 胴縁キャップを取付けた状態で、胴縁キャップを含まず胴縁端部から17mmの位置にφ9の貫通孔加工



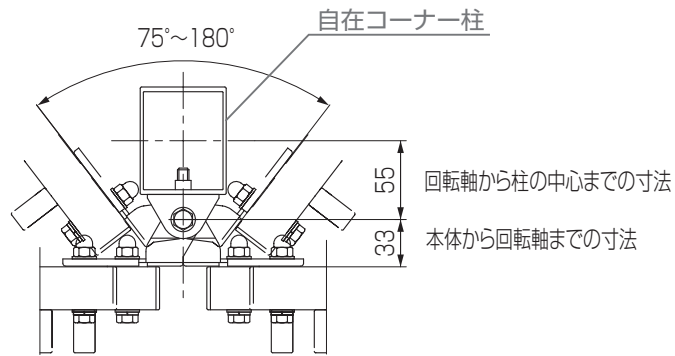
4: フェンス本体をコーナー柱用ブラケットに【6b】【6c】【6d】で取付け



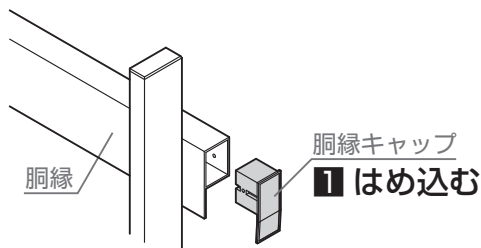
7 自在コーナー柱の施工

施工上のお願い

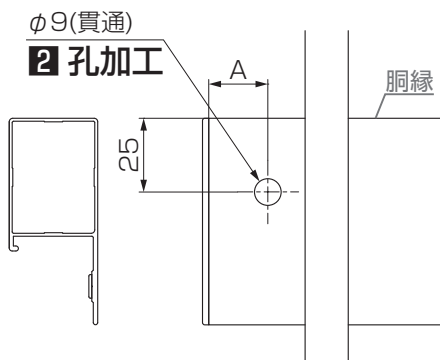
- 自在コーナー柱は出隅専用です。入隅の施工はできません。
- 自在コーナー柱の位置は支柱の通りとずれます。フェンス本体を取付ける際は仮施工の状態では自在コーナー柱の位置を調整してください。



1: フェンス本体胴縁端部に胴縁キャップをはめ込む

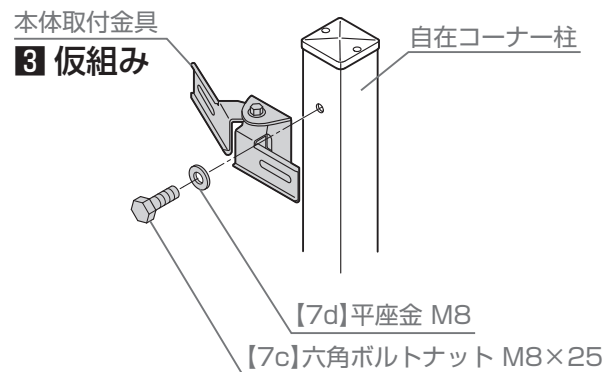


2: 下図の通り、傾斜角度に合わせてφ9の貫通孔加工



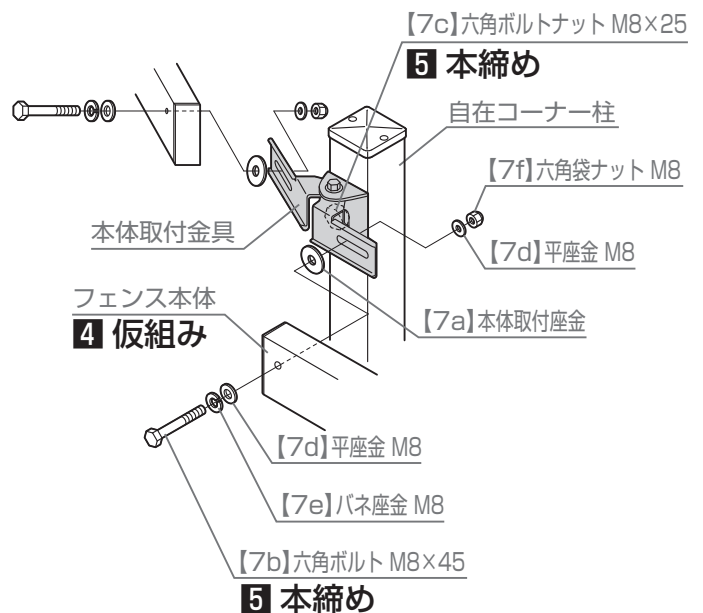
傾斜角	A寸法
0~15°未満	20
15~20°未満	15
20~30°以下	10

3: 自在コーナー柱に本体取付金具を【7c】【7d】で仮組み



4: フェンス本体を本体取付金具に【7a】【7b】【7d】【7e】【7f】で仮組み

5: フェンス本体がうまく納まっていることを確認し、【7b】【7c】を上から順に本締め



取説コード

EXM-111

JZZ638544
202307_1049